

目次

【座談会】

GAPで高める産地の力 ～食の安全・安心をめぐる～	1
---------------------------	---

【最新農業技術情報】

最新技術情報の研究成果は、道立総合研究機構十勝農業試験場、畜産試験場のご協力を得て掲載しました。詳しい内容は各試験場にお問い合わせ下さい。

寒さに強く、おいしい豆腐ができる大豆「十育258号」	4
線虫・そうか病・塊茎腐敗に強くチップカラーが優れる ばれいしょ「北育22号」	6
黒根病と褐斑病に強いてん菜「北海104号」	8
手間いらず 秋まき小麦の基肥一発施肥法	10
ポイントはここ！ でん原ばれいしょの生産コストを見直そう	12
野良イモ退治だけじゃない！土を凍らせて畑の生産力アップ	14
ジャガイモ黒あし病の種いも保菌リスク	16
スイートコーン害虫は適期防除で YES!clean 栽培も可能	18
北海道の加工用にんじんの品種 ～収量は「カーソン」、味は「紅ぞろい」～	20
畑作物に対する苦土質肥料「軽焼マグネシウム」の肥効評価	22
暗きよをリフレッシュさせる「補助暗きよ」 –その特徴と持続性–	24
平成30年に特に注意を要する病害虫	26
これからどうなる？北海道の農家戸数と平均経営規模	28
バケツで重さをはかって作る衛生的な牛ふん堆肥	30
羊における代謝プロファイルテストの活用事例	32
和牛ほ育管理の改善と繁殖牛（第11回全共代表牛）の栄養コントロール ～飼料設計と体重測定を活用して～	34
ホルスタイン未経産牛における受胎月齢がその後及ぼす影響の調査	36
牛ヨーネ病患者の病型分類と胎子感染確率の検証	38
自給飼料の生産、利用に関する技術展望 ～道内および北欧の事例調査を通じて～	40
敵を知り対策をたてよう！草地の難防除雑草「ハルガヤ」	42
極早生でたくさんとれるチモシー「北見33号」	44

【帯広畜産大学発 研究最前線 十勝農業の飛躍を目指して】

グローバル化に対応した画像解析による牛肉質評価法	46
--------------------------	----

【十勝毎日新聞・十勝農業記事ハイライト】

①2017年生産・取扱高

十勝JA取扱高 過去最高3388億円 畑作回復5割増 (2017.12.25)	50
十勝食料自給率1266% 前回17ポイント上回り最高 (2017.12.25)	50
3500億円到達へ弾み 十勝JA取扱高過去最高 (2017.12.26)	51
ハイライト農業 (2017.12.28)	52

②EPA・TPP

日欧EPAに危機感 大樹工場増強へ 雪印メグミルク (2017. 6.29)	53
日欧EPA大枠合意 輸入増「大きな脅威」 管内農業者ら (2017. 7. 6)	53
【農業ガイド1118号】EPA対策 農家に不安 農水省が説明会 (2017. 8. 5)	54
TPP11 大筋合意 「安価、対抗厳しい」 輸入増の影響懸念 十勝の農家 (2017.11.10)	55
「生産量維持に万全」 TPP・EPA対策 農水省など説明会 (2018. 1.24)	55
TPP11 道内影響495億円 乳製品へ打撃懸念 道が試算 (2018. 2. 3)	56

③技術開発

固定翼ドローン農業活用 セイカン工業と東京のベンチャー 十勝で実証事業 (2017. 5.10)	57
画像で枝肉評価 JRAが助成 畜大・口田教授ら開発 (2017. 5.28)	57
【農業ガイド1109号】日本育種学会賞に 十勝農試豆類グループ (2017. 6. 3)	58